

児童の安全確保について

各種の警報が発令された時の児童の登下校につきましては、安全確保を第一に、次のように対応したいと思います。ご理解・ご協力をお願いいたします。

◎風水害の『警報』などが発令された場合			
	状 態	学校の対応	備 考
登 校 前	午前7時の段階で横浜市内に <u>「暴風警報」</u> <u>「大雪警報」</u> <u>「暴風雪警報」</u> が発表継続中の場合	全市一斉に「 臨時に休校 」 ○当日の給食は全市一斉に中止 ○遠足・体験学習なども原則として延期・中止。 ただし、目的地に警報等が発表されておらず、出発を遅らせる等の措置により安全が確保される場合等は、学校の判断により実施する場合があります。	原則として学校からの連絡は行いません。
	午前7時の段階で横浜市内に <u>「暴風警報」を伴わない</u> <u>「大雨警報」</u> <u>「洪水警報」</u> が発表継続中の場合	各地域の状況により、各家庭で「登校させる」「登校させない」「遅れて登校させる」等の判断をお願いします。「登校させない」「遅れて登校させる」場合には 必ず学校に連絡 をお願いします。この場合、出席簿上では「欠席」「遅刻」とはなりません。	
登 校 後	登校後に「警報」が発令された場合	学校や地域の状況に応じて 学校で対応を判断 します。	状況により、適宜学校から連絡します。
◎震度5強以上の地震が発生した場合			
	<u>〔登校前、下校後の場合〕</u> 市内で震度5強以上の地震が1箇所でも発生した場合、原則として当日及び翌日は休校になります。 <u>(横浜市学校防災計画の改訂に伴い)</u>	<u>〔登校後、児童が学校にいる場合〕</u> 学校に留め置き、学校において保護者に引き渡します。 震度5弱以下の地震が発生した場合でも、学校周辺の交通機関の停止や停電等で子どもを安全に帰宅させられないと判断したときは、学校に留め置き、学校において保護者に引き渡します。	

※ 「横浜市内に警報が発令されている場合」とは、「神奈川県全域」「神奈川県東部」「横浜・川崎」のいずれかに警報が発令されている状態を指します。

参考：気象警報発表状況の確認方法

横浜市では、次のような方法で、市民向けに気象情報等の提供を行っています。確認したいときに、比較的容易に情報を得ることができますので、ご活用ください。

1 横浜市危機管理室ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/information.html>

上記のサイトにアクセスして、防災情報が入手できます。

下記からは、直接、神奈川県内の「警報・注意報」にアクセスできます。

http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/kikikanri/weather/ippan1/index_warning.html

2 横浜市水防災情報ホームページ（携帯電話版）

(1) 携帯電話（パソコン・スマホも可）でインターネットに接続し、次のURLを入力してください。

<http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>

(2) 表示された画面で、「5 気象警報・注意報」を選択すると、横浜・川崎に対し、直近の時刻に発表された情報が表示されます。

(3) さらに、「現在の注意報・警報へ」を選択すると、その時点での、横浜・川崎に対する警報・注意報発表状況が確認できます。

3 横浜市「防災情報Eメール」配信

上記2「横浜市水防災回報」の内容は、あらかじめメールアドレスを登録すれば、Eメールで受信することができます。配信される情報の種類は、任意に設定可能です。

登録を希望する場合は、携帯電話（パソコンも可）で、上記2の「横浜市水防災回報」ホームページから手続きをしてください。

【注意点】

- (1) 情報料は不要ですが、Eメール受信に関する通信料は受信者の負担となります。
- (2) 通信インフラの性質上、遅配や配信されない場合があります。
- (3) 携帯電話等で、メールの着信制限を設定している場合は、防災メールのアドレス(yokohama@bousai-mail.jp)から着信できるように設定する必要があります。

上記以外の警報発表状況に関する確認方法

○テレビのニュース番組または、データ放送等で確認できます。ただし、休校判断時刻前後に放送されるとは限らないことに留意の必要があります。

○NTTの「177」では、電話をかけた時点で警報等が発表継続中であれば、冒頭で放送されます。ただし、利用が集中した場合、つながりにくくなる場合があります。